

実篤は美術好き



ピカソからもらった「ミノトローマシー」を見る

実篤は「美術品を見ると、作品を通して作者とおに会っている気がする」と言い、美術品を見るのが大好きでした。



▲西洋近代の画家・ゴッホ「向日葵」
(第二次世界大戦の空襲で焼失)



▲実篤が持っていた江戸時代中期の画家・池大雅の「曲江行楽図巻」

日本や中国などの東洋と西洋、エジプトやギリシャなどの古代と近代の違いにこだわらず、いろいろな美術が好きでした。

ピカソ・ゴッホ・ムンクなどの西洋近代画家が、まだ日本では知られていなかった頃に、いち早くその作品のすばらしさに気づき、紹介しました。



展覧会や画集で見ただけでなく、気に入った作品を集めていました。そうして集めた彫刻や陶器などは、自分の絵に描くこともありました。

◀古代エジプトの彫刻を実篤が描いた「オシリス」

みんなも自分のお気に入りの美術品を見つけてみよう！